

佛國帝旗、縁源ハ別紙ニナスケ取調ノ通リ
テ古來各國ニモ皇帝自家ノ紋ヲ旗章用
ヒ實ニ貴重ナリトモ七十身以來ハ何ナク各國帝
王自家ノ紋ヲ免レ國ノ為メ設タル皇帝ノ
旗章ヲ用テ事トナリタル由

ナラスケノ説ニモリ貴政府ニ於テハ即チ
皇帝ノ御旗ハ直ニ
皇帝ノ御紋ヲ貼レ遍
人民ニ 皇帝ノ貴重ナルヲ知ラシムルハ良善ナリ

太政官

其旗章、如キハ國旗曰章ノ母ノ菊紋ヲ貼
ルル又ハ佛國ノ紋ノ如ク所謂古昔神代ノ
三種ノ神器ヲ以テ新ニ標造シ製作シ永
ク日本帝王ノ旗標ニ定メテハ萬也 皇統
ノ貴重ナル旗標ニ依テ認得ヘシ

右ナラスケ氏ノ説實ニ吾國辭通當至
極ナリ海外各國ノ如クハ朝天子々庶人
人民同然其習慣ノ所使然道ニテ帝

王自富ノ旗章ノノ慶云々至ニ我國ノ
 如クハ開闢以來 帝位尊然トシテ
 序内免國ノ事ト出焉也其ノ不可見
 不可犯ノ大業トナリ也後新國
 之運ハ此ノ時ナリ 帝位尊然トシテ
 今ノ事ナリノ能ク 深ク考酌シテ下
 旨トナリ也
 壬申八月
 後醍醐天皇
 御紀前御長 閣下
 宣旨於後友

太政官

後醍醐天皇